

## 原子力安全向上にかかる相互技術協力について

2017年3月7日

東京電力ホールディングス株式会社

中部電力株式会社

北陸電力株式会社

東京電力ホールディングス株式会社、中部電力株式会社および北陸電力株式会社（以下「3社」）は、共に沸騰水型軽水炉（BWR）、特に運用中の改良型沸騰水型軽水炉（ABWR）を保有していること、さらには、互いに地理的に近接していることを踏まえ、原子力安全向上にかかる相互技術協力を行うこととし、本日、3社間で協定を締結しましたので、お知らせします。

具体的には、3社の炉型の同一性を活かし、運転員技能向上や、運転にかかる知見の共有等、技術的協力を行います。

さらに、3社の地理的近接性を活かし、現行の原子力事業者間協定（※）の実効性をより一層高めるものとして、万一、原子力災害が発生した場合の事故収束活動支援や住民避難支援等の協力を相互に行います。

3社は、引き続き、原子力事業者として、一層の安全性・信頼性確保に万全を期してまいります。

以 上

※ 原子力災害時における原子力事業者間協力協定（2014年10月10日に電力9社、日本原子力発電株式会社、電源開発株式会社、日本原燃株式会社の12社で締結）

## 原子力安全向上にかかる相互技術協力の概要 (締結者：東京電力ホールディングス，中部電力，北陸電力)

### ○炉型の同一性（注）を活かした，原子力発電所の安全性向上に向けた技術的協力

- a. 運転員技能向上
  - ・ 運転訓練シミュレータを用いた相互訓練 等
- b. 運転知見の共有
  - ・ 運転管理等の知見にかかる情報共有，ベンチマーキング 等

### ○地理的近接性を活かした，地域の皆さまの安全確保に向けた避難支援等の協力

- a. 事故収束活動支援
  - ・ 発災事業者への技術者派遣による状況把握
  - ・ 災害対策支援拠点の運営助勢 等
- b. 住民避難に関する活動支援
  - ・ 放射線モニタリング
  - ・ 避難退域時検査 等
- c. 原子力防災訓練への相互参加

(注) 東京電力ホールディングス，中部電力および北陸電力は，共に沸騰水型軽水炉（BWR）を保有し，また，現在世界で運転を開始している改良型沸騰水型軽水炉（ABWR）も保有している事業者